

刈谷市	所属議員	伊藤幸弘 黒川智明 中嶋祥元 鈴木浩二 佐原充恭 深谷英貴
------------	------	-------------------------------

産業目線

【活動選定項目】	(例) ① カーボンニュートラル(CN)への対応 ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現
-----------------	--

具体的取り組み項目	カーボンニュートラル (CN) への対応
------------------	----------------------

前回まで 活動状況	関連 計画Ⅰ. 刈谷市としての取り組み強化→ ①ゼロカーボンシティ宣言。④グリーン購入、環境配慮契約促進。 上記の取り組みを一般質問で要望 (伊藤、鈴木) 計画Ⅲ. その他 事業者向け、大型車、フォークリフトなどの購入補助の新設、拡充を一般質問で要望
----------------------	---

<p style="text-align: center;">今回 具体的活動</p> <p style="text-align: center;">今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>12月刈谷知立環境組合議会 (質問者 伊藤市議)</p> <p>刈谷市・知立市のゴミ処センターの余った電力は、電気事業者へ売電しており、公共施設で活用すれば、市のCO2削減に寄与できる。(市内での模範となる取り組みを進めるべき)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">刈谷市がゼロ カーボンシティ宣言 (全国569番目)</p> <p style="text-align: center;">新年度予算で自治体電力会社設立を刈谷・知立 民間企業で自治体電力会社を立ち上げ、公共施設内でクリーン電力を活用</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>3月質問 (鈴木) 新電力会社を活用した更なる地産地消の電力創出によるCO2削減を要望 回答→将来的には、他の事業者等と連携を図るなど、新電力会社で取り扱う再生可能エネルギーの量を増やし、さらなる地域の脱炭素化を進めてまいりたい</p> <p>3月質問 (佐原)、刈谷市へのCO2削減に向けた6項目の市長要望をフォローする質問 回答→低公害車(EV、PHV、超小型電気自動車、FCV)補助を拡充。引き続き継続するとともに、今後ますます自動車の化石燃料からの脱却が進むと考えられる為、国や自動車産業等の動向を見据え、時代の潮流に沿った新たな補助制度等の創設を研究していく。</p> <p>3月質問 (佐原) 2050年CN達成に向けた市長の見解を問う 回答：議員のおっしゃるとおり、モビリティを中心としたまちづくりを進める中で、CASE/MaaSなどの最新技術を取り入れながらCNを目指していくことは重要と考えている。市民や事業者の皆様と手を携えながら、脱炭素化に向けた取組を進め、市民が魅力を感じ、快適に暮らせる持続可能なまちづくりを進めていきたい。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <div style="text-align: center;"> <p>地域新電力会社の事業スキーム</p> </div> <p>【効果】 刈谷市のCO2総排出量を13%低減に寄与</p> <div style="text-align: center;"> <p>■地域経済活性化 魅力ある地域づくりに向けて</p> <p>取り組みイメージ図・政策効果</p> </div>
---	--	---

<p style="text-align: center;">今後の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先進技術を活用したCNへの具体的な計画立案に向け、市内企業と市を繋ぎ実証実験など活動を加速する。 自治体電力会社による地産地消の電力拡大に向け、来年度予算に必要な補助制度等を調べ要望する。 FCV車普及、利活用を促進する、ニーズの高い補助制度を研究し提案する。
--	--